

## 沖縄におけるシロウリ在来系統の特性と評価

中村 浩・\*石内伝治 (熱帯農業研究センター沖縄支所・\*野菜試験場久留米支場)

Hiroshi NAKAMURA and Denji ISHIUCHI : Characteristics and Evaluations of Local Varieties of Oriental Pickling Melon in Okinawa District

沖縄における夏期の野菜生産は酷暑・干ばつ・台風・病虫害等によって制限を受け、需要を満たすには至っていない。この地域の主要な夏野菜として定着してきたウリ科野菜の種類をさらに拡大するために、種々のウリ科野菜について比較検討を行ったところ、シロウリの在来系統は優れた特性を備えていることが明らかになったので報告する。

### 1. 材料および方法

1982年に波照間島と石垣島において収集した‘波照間在来’と‘大浜在来’ (両者とも仮称) の2在来系統、‘桂’他3品種 (本土から導入) 、‘大青皮縞瓜’ (中国から導入) のシロウリ7品種・系統ならびにキュウリなど8種類のウリ科野菜合計9種32品種・系統を供試した。熱研沖縄支所において、1983年7月7日播種、7月20日定植とし、はい (這) 作りの無摘心栽培を行い、キュウリとの比較に重点を置いて検討した。

### 2. 結果および考察

シロウリの生育はおう盛で、株のまとまりがよかった。またキュウリより葉は小型で葉柄も短く、草高が低く強いほふく性を示し、風による損傷を受けにくかった。中でも‘大浜在来’は生育がおう盛で、草高も低くコンパクトであった。シロウリの雌花の開花始めは播種後28~30日で、キュウリの33~36日より早く、供試したウリ科野菜の中では最も早生であった。着果性は良好で、果実の肥大も早く、‘沼目’と‘大浜在来’は播種後34日

には収穫可能となった。キュウリはべと病の発生とともに8月中旬以降草勢が急速に衰えた。しかしシロウリではべと病の発生がきわめて少なく、8月中旬以降本土から導入した品種にやや衰弱の傾向がみられたものの在来2系統は8月下旬になっても強い草勢を維持した。

果実についてみると、‘波照間在来’は果面に斑紋があり、台湾の‘花皮種’に似ており、また‘大浜在来’は果色が濃緑色で条や縞がなく、喜田の分類による‘青瓜’の記載と似ていた。両在来系統とも果肉はやや薄い傾向を示した。‘波照間在来’の果肉は歯切れがよく、‘大浜在来’はわずかに軟らかく食味がよかった。

以上のように、シロウリは低いコンパクトな草姿を示し、生育はおう盛で病害の発生も少なく、沖縄の夏期の厳しい条件下でも栽培は容易であった。供試したウリ科野菜の中でシロウリは最も早く収穫期に達し、着果性も良好であった。また、その用途は漬物から生食まで広いことが知られている。

これらのことから、シロウリは沖縄の夏野菜として優れた特性を備えているものと思われた。特に‘大浜在来’は生育のおう盛な早生で、食味もよく最も期待できよう。しかし、シロウリの在来系統は現在ほとんど栽培されておらず、絶滅寸前とみられたので、これらを早急に収集し、さらに詳細な調査を行うとともに栽培法の検討も必要であると考えられた。

第1表 シロウリとキュウリの生育特性 (調査日: 1) : 8月4日, 2) : 8月10~11日, 3) : 8月23日)

野菜の種類	品種・系統	つる長 <sup>2)</sup> cm	30 cm 以上 <sup>1)</sup> の子づる数		草高 <sup>3)</sup> cm	占度 <sup>2)</sup>	草勢 <sup>3)</sup>	葉柄 <sup>2)</sup> 長 cm	葉の大きさ <sup>2)</sup>		雌花の <sup>c)</sup> 開花始 日	収穫 <sup>c)</sup> 始 日	べと病 <sup>3)</sup> の発生 <sup>d)</sup>
			占度 <sup>2)</sup>	横 cm					縦 cm				
シロウリ	桂	162	4.1	30	5	4	18	18	14	33	40	2	
	沼目	121	4.8	25	5	3	14	19	14	28	34	2	
	阿波みどり	127	4.5	35	4	4	19	19	13	33	42	1	
	大青皮縞瓜	139	3.8	30	5	4	18	19	14	28	42	1	
	青大長縞瓜	140	4.3	36	5	5	20	18	13	28	42	2	
	波照間在来	141	4.9	39	5	5	17	17	13	32	40	0	
	大浜在来	165	4.9	26	5	4	18	17	12	29	34	1	
キュウリ	ときわ夏節成	102	0.1	30	3	1	21	22	16	36	42	3	
	青長四葉	114	0.3	27	3	1	19	20	16	34	42	3	
	霜不知	118	3.1	30	3	1	22	21	16	33	39	3	

注) a) 占度: つるの先端付近までの地表の覆われ方の程度を示す。粗(1)~密(5)。 b) 草勢: 弱(1)~強(5)。

c) 播種後日数。 d) べと病: 無(0)~多(3)